

令和4年度第4回 山県市教育委員会定例会議事録

1 日時

令和4年11月1日(火) 午前9時00分～午前10時40分

2 場所

山県市役所3階 会議室301

3 出席者

教育長 服部 和也

委員 川田 八重子 委員 堀 恵子

委員 大野 良輔 委員 千葉 純

事務局 学校教育課長 森川 勝介

生涯学習課長 藤根 勝

学校教育課課長補佐 渡瀬 和則

4 議事日程

日程第1 前回議事録の承認

日程第2 議事録確認者の指名

日程第3 議事

議第13号 山県市議会に提出する、令和4年度一般会計予算(教育予算)の補正(第6号)についての意見を市長に申し出ることについて

日程第4 諸般の報告

日程第5 その他

5 会議の概要

別添のとおり

午前9時00分 開会

日程第1 前回議事録の承認	
教育長	<議事録について説明を求める。>
学校教育課課 長補佐	<議事録について説明する。>
教育長	<議事録について各委員の意見を求める。>
教育長	<委員からの意見がないため、議事録について議決を求める。>
教育長	<全員異議なしにより、議事録について原案のとおり議決する。>
日程第2 議事録確認者の指名	
教育長	<議事録確認者に川田委員を指名する。>
日程第3 議事	
議第13号 山県市議会に提出する、令和4年度一般会計予算（教育予算）の補正（第6号）についての意見を市長に申し出ることについて	
<非公開案件であるため、議事録は別途作成>	
日程第4 諸般の報告	
学校教育課課 長補佐	10月17日、第3回学校適正規模等検討委員会を行いました。そこで承認された第2回議事録と、答申（案）等の会議資料をお配りしています。内容はおおむね了解を得られていますが、文言についての意見が若干ありました。次回、11月21日に修正案を提出し、年内には答申をいただき、年度内には適正規模推進基本方針と基本計画について、教育委員会で議決いただくような予定です。
教育長	今月の適正規模検討委員会で、語句修正はあるかもしれませんが、概ねこれがベースになって決まると思います。教育委員会としては、年度内中に計画を策定するところまで進めなければなりません。おそらく来年度は、教育委員会が学校現場へ出向き、地元の方とも対話をしながら計画を見直し、固めていくことになると思います。
教育長	地域部活動への移行について、今年度、いろんな団体と連携について模索してきました。20年近い歴史のあるチームヤマガタスポーツクラブとやまがた子ども文化クラブに、それぞれ運動系と文化系の部活動を委託できないか依頼したところ、子ども文化クラブが文化系の部活動を受託するのは難しいという結論になりました。TSCについては、運動系の部活動を受託することは問題ないということです、来年度、運動系の地域部活動を委託する予定です。

	<p>国は3年間で移行するよう目標を定めていますが、文科系については地域の受け皿がないとできないので、慌てずに2030年ぐらいまでに完全移行できればいいと思っています。</p>
教育長	<p>不登校になった子どもたちの居場所として、こどもサポートセンターという新たな機関を、保健福祉ふれあいセンターに作ろうと思っています。今まで適応指導教室はありましたが、こどもサポートセンターは、勉強を教えてほしい、進路の相談をしたいなどの要望に合わせて対応します。</p>
教育長	<p>子どもの情報を一元管理できる国の「次世代の校務デジタル化推進実証事業」に手を上げようと思っています。子どもが苦しい思いをするのは、保育園から小学校へ上がる時、小学校から中学校へ上がる時など、区切りのところで起こっていますが、子どもの情報が一元化されていないために、しっかりと情報が伝わらない、情報を整理し直すということになってしまっています。それを防いで子どもをサポートするための事業です。</p>
教育長	<p>教育センターに、新たに山県体験学習プラスセンターというようなものを作れないかと思っています。大胆な体験学習を学校でするには限界がありますので、センターにスクールバスで移動させ、教育委員会の事業として体験学習を行います。</p> <p>以上が、来年度大きく動き出す事業です。</p>
生涯学習課長	<p>毎年恒例の秋のウォーキングイベントを、11月12日の土曜日に開催します。</p>
教育長	<p>今後、社会人と子どもの意見交換会、ゼミを実施する予定で、11月3日、江崎禎英さんを講師に初めて開催します。18人の児童生徒が参加を希望しています。</p>

午前10時40分 閉会